

News Release

2015年1月27日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

重電機器受注生産品の受注実績 2014年度「第三四半期(10-12月)」

JEMA では、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2014年度「第三四半期」の受注実績を公表致します。

2014年度 第三四半期(10-12月)の概要

【概況】

第三四半期の受注額は4,005億円(前年度同期比91.7%)と、内需、外需ともに前年同期を下回り、5四半期ぶりに前年同期比割れとなった。(* 以下、前年度同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

■内需

内需は2,667億円(同93.0%)となり、製造業が前年同期を上回ったものの、非製造業及び官公需が前年同期を下回り、4四半期ぶりの前年同期比割れとなった。

- 非製造業は1,408億円(同92.6%)となり、大口需要先である電力業の減少が全体を押し下げた。国内電力会社向け受注は、4四半期ぶりの前年同期比割れとなり、引き続き、受注環境等に注視をしていきたい。
- 製造業は610億円(同103.8%)と増加した。主要需要先でみると、はん用・生産用・業務用機械、鉄鋼業などに減少がみられるものの、電気・情報通信、自動車などが上期に引き続き増加しており、堅調である。

■外需

外需は1,338億円(同89.3%)と、北米向けの減少により5四半期ぶりの前年同期比割れとなった。

【製品別動向】

変圧器、遮断器、配電装置は増加したものの、発電機、交流電動機、電力変換装置、制御装置が減少した。

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等であります。
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等であります。

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます

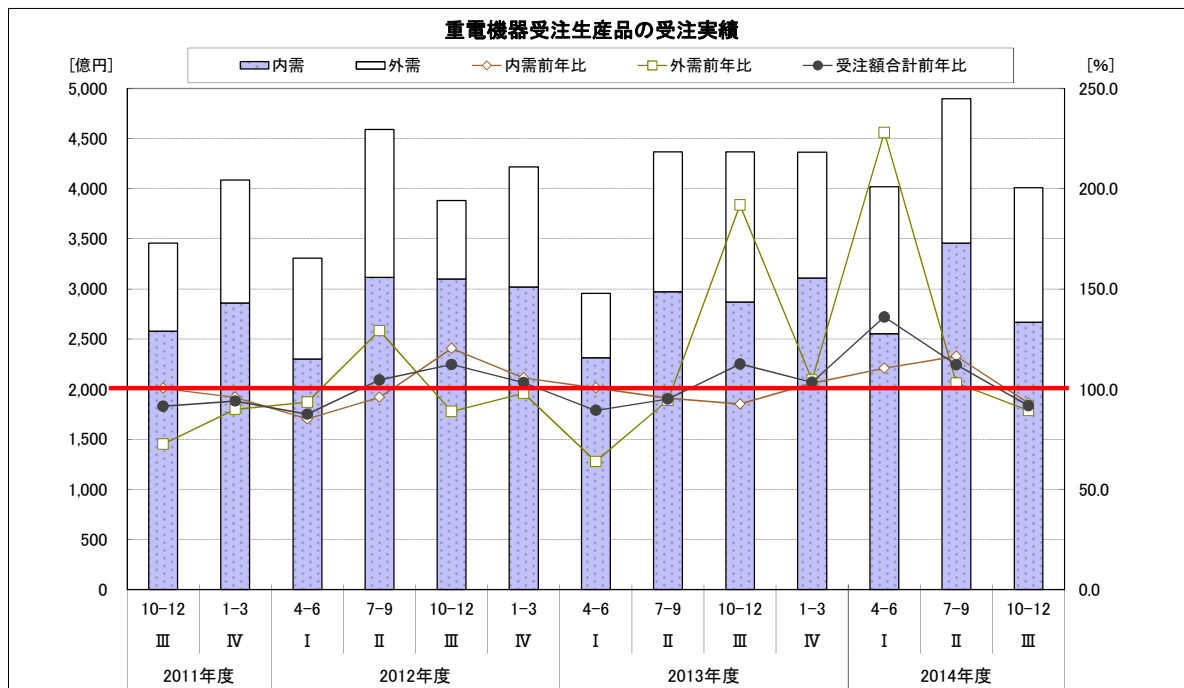
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます

■公表の形態

- ・JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

■ 四半期実績の推移

【受注実績: 内需+外需】



【内需内訳】

